



HPはこちらへ

強度行動  
障害ってなに？

困った人じゃなくて  
困っている人？

適切な  
関わり方は？

# 知ることから 始めてみよう!!

どう支援  
したら…？

令和5年度

## 長崎県強度行動障害

## 支援者養成研修（基礎研修）

強度行動障害とは自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態を意味する用語です。その状態を見るとどうしても「困った人」と思いがちですが、実は強度行動障害の状態になっている人は「困っている人」なのです。関わりを持つ私たちの理解や配慮によって、強度行動障害の予防、軽減ができ、そして本人の社会参加を進めることができます。「強度行動障害ってなに？」をコンセプトに強度行動障害の状態にある方の支援の基礎を一緒に学んでいきましょう。

1回目

令和5年  
**9/21(木)・22(金)**  
長崎県総合福祉センター

2回目

令和5年  
**9/28(木)・29(金)**  
アルカディア大村





# 知ることから始めてみよう!!

令和5年度 長崎県強度行動障害支援者養成研修を開催します!

受講者の方、管理者の方へ こんな悩みありませんか?

- ・事業所、法人で障害特性について学ぶ機会が少ない。
- ・行動障害がある方を受け入れたけど、対応に苦慮している。
- ・入職したばかりの職員に行動障害についての説明が難しい。

## ○こんな姿を目指します!

- ・個別支援の提供を大切にした関わり方ができる。
- ・統一した支援、チームプレイの重要性を理解する。
- ・支援の根拠を理解した、関わり方ができる。
- ・行動の理由(背景)を見つけ、適切な関わり方ができる。

### 受講者アンケートのご紹介

- ・強度行動障害の基本について分かりやすく学ぶことができた。
- ・他事業所の方と話ができ、新たな発想や観点に触れることができ勉強になった。
- ・疑似体験を通して「困っていること」について理解できた。
- ・支援のアイデアを学ぶことができた。
- ・課題行動の背景を知ることが大切なことを学ぶことができた。
- ・チームプレイの大切さ、報連相、情報共有の大切を学ぶことができた。

### プログラム(予定)

- ①研修の意義 行動障害と虐待防止
- ②強度行動障害の理解(講義)
- ③障害特性の理解(講義)
- ④困っていることの体験(演習)
- ⑤支援のアイデア(講義)
- ⑥基本的な情報収集(演習)
- ⑦特性の分析(演習)
- ⑧チームプレイの基本(講義)
- ⑨支援手順書に基づく支援の体験(演習)
- ⑩実践報告(グループワーク)
- ⑪家族の気持ち(講義)
- ⑫研修の振り返り(講義)

開催日 / 1回目 令和5年9月21日(木)~22日(金) 長崎県総合福祉センター  
2回目 令和5年9月28日(木)~29日(金) アルカディア大村

対象 / 福祉職初めて間もない方(経験年数0年0ヵ月)から受講できます。  
医療従事者や特別支援学校の先生の方もご参加頂けます。

受講料 / 15,000円

※本研修修了者の配置は重度障害者支援加算算定要件となっております。

○お問い合わせはコチラまで 一般社団法人 長崎県知的障がい者福祉協会 事務局  
長崎県長崎市茂里町3番24号(長崎県総合福祉センタービル4階)  
TEL: 095-842-7007 FAX: 095-842-7008

ホームページから  
お申し込みください

<http://www.nagasaki-fukushi.com>